



<参加メンバー> 7人 (男性4人、女性3人) 天候：晴れ

<コースタイム>石切駅10：40～10：50石切劔箭 (つるぎや) 神社上之宮～11：30辻子(ずし)谷
水車郷12：20～13：00旧生駒トッ初跡～13：15日下新池ヒトモスギ自生地14：00～14：30日下貝塚～
15：20石切劔箭神社～新石切駅 歩行時間：約5H 距離：約9Km

<行動の概要>

現在の大阪平野は陸地であるが、縄文時代には河内湾という内海が広がっており生駒山麓まで海が迫っていたという。それを物語る海辺にしか生えない植物(ヒトモスギ)や海辺での生活の跡である貝塚跡が残っておりそれらを辿った。また神話の時代である初期ヤマト王権ゆかりの神社(劔箭神社)や遺蹟、さらに時代が下り江戸時代から続く漢方薬製粉用の巨大水車(復元)が残り漢方薬の香りが漂う谷、旧生駒トッ初や旧生駒駅の跡など、タイムトリップのような感覚で探訪した。今回もまた新しい発見をメンバーで共有でき、早春の一日を楽しむことができました。(Gi)



近鉄石切駅



路傍のお地藏さま



辻子谷道から右へ入る



石切劔箭神社上ノ宮鳥居と参道



石切劔箭神社上ノ宮本殿



本殿前にある石、劔でパッと切られたような割れ目。石切の由来か？



辻子谷へ入る



薬品会社の庭に石臼(うす)



丁石



谷の道にはお地藏様が多い



辻子谷の春



蔵のある家



漢方薬製粉会社が水車や水車小屋を復元・保存している。水車は実物大、直径6m。最盛期には100基以上あった。



水車郷で昼食、後ろは漢方薬製粉会社



辻子谷を下る。
漢方薬の香りが漂う。
前方には河内平野を
を見下ろす。

辻子谷は信仰の道。
路傍には地藏尊。





旧生駒駅、ホームと軌道跡が残る



旧生駒トンネル、1914年完成



旧生駒トンネル内部



日下新池には縄文時代に、この辺りまで海が迫っていたことを示す植物(ヒトモスギ)がいまだに生育している



ヒトモスギ(東大阪市天然記念物)



日下新池傍らの小さい公園で休憩。水仙が満開。



生駒山麓には旧家が多い。辻子谷の水車産業と関係あり？



縄文時代この辺りが海岸線近くだった証拠・・・日下貝塚。今は畑と茅と記念碑のみ。



石切劔箭神社本殿



本殿横の大楠



神社参道



劔(つるぎ) と



箭(や)

箭とは竹製の矢のこと



石切劔箭神社楼門



楼門屋根上の劔と箭



最後は参道の店で反省会

----- ルートの軌跡

